

むさしの Link

昔と今、人とまちを
つなぐストーリー

保存会 むさしのばやし



160年以上もの歴史を持つ武蔵野市の郷土芸能「むさしのばやし」。
武蔵野八幡宮のお祭りをにぎやかにするために生まれたとされ、
昭和46（1971）年には、市の無形民俗文化財に指定されています。
50年を迎えた「むさしのばやしチビッコ教室」で教えるお二人に
むさしのばやしの魅力と次世代へつなぐ思いをお聞きしました。

気持ちに合わせて
お祭りをもり立てる
一体感が魅力

そのうち、私の影響なのか母も成人教
室に通うようになったんです。

■浜名さん お子さんがチビッコ教室
に通っているのを見て親御さんが始め
るケースは多いですね。藤卷さんは
おはやしをやっていて楽しいのはどん
な時ですか？

■浜名さん 私は吉祥寺駅の南口で長
く店をやっています。南口の商店会は
北口と比べると規模も大きくなかった
ので、商店会を盛り上げる意味もあつ
て、地域の消防団を中心とした青年た
ちがおはやし稽古を始めました。それ
以来、50年近く「むさしのばやし」に
関わっています。

■藤卷さん おはやしを演奏していて
意図せずともお互いの演奏が自然にそ
ろってくる瞬間ですね。あと、お祭り
に参加すると、周りで踊っている人が
いて、おみこしを担いでいる人たちも
いて、その輪の中に自分も入れている
という感覚がすごく楽しいです。

■浜名さん そう、みんなで演奏して
いると一体感を感じます。おはやしが、
お祭りの一体感を支えているんです。

■藤卷さん 基本的におはやしは、大
太鼓、小太鼓、鉦、笛で構成されてい
ます。小太鼓は2人いるけど叩き方が
違うし、おけでできた桶銅太鼓はまた

■藤卷さん 私がおはやしに夢中
でいたのですが、私はおはやしに夢中
でずっとかじりついているような子ども
で（笑）。その後、市報でむさしのば
やしの練習ができることを知って、小
学3年生の時、小・中学生向けのチ
ビッコ教室に通うようになりました。

■浜名康一さん

吉祥寺駅南口でタバコ店を営む傍ら、商店会の青年
らと共に昭和58（1983）年から「むさしのばやし」
を始める。現在はむさしのばやし保存会に所属し、
むさしのばやしチビッコ教室の講師を務める。

■藤卷紅緒さん

平成13（2001）年、小学3年生の時に「第26期む
さしのばやしチビッコ教室初級」を受講。現在は保
育士をしながら、むさしのばやし保存会に所属し、
むさしのばやしチビッコ教室の講師を務める。



音が全然違う。笛と鉦も、それぞれ音色や奏でるリズムも違います。それでも、同じ楽曲を演奏していると生まれ一体感が、やればやるほど出てくる。一緒にやっている人同士もきつと同じように感じていると思います。

■浜名さん 私は時々ずれるから、みんなに怒られるんですけど(笑)。

■藤巻さん 人によって間の取り方がちよつと違ったりしますからね。もともおはやしには音楽の譜面のようなものはなくて、「口伝」といって人の口伝を「もんく」として文字で書き記したものがあります。譜面の代わりというか、そのもんくを覚えながら練習します。

■浜名さん それもチビッコ教室が始まって、途中からできたんですよ。最初の頃は目安になるようなものは何もなく、「とにかくお祭りを見て覚えろ」という感じで。見よう見まねでやってみて、先輩が「そこはちよつと違うぞ」と教えてくれる。やりながら一つずつ覚えていく感じでしたね。

■藤巻さん 私は、チビッコ教室の同期の子たちと切磋琢磨しながらやってきた感じでした。おはやしのもんくを言う時の声の大きさを張り合ったりし



毎週土曜日、階級ごとに教室が開かれ、吉祥寺秋まつりや最終日の発表会に向け練習しています

ながら(笑)、小太鼓、大太鼓、鉦、笛を習得していききました。競い合う仲間がいたから頑張れたような気がします。

■浜名さん 藤巻さんのように、全員がすべての楽器を一通りできるようにするのが一つの目標ですね。それぞれ難しさはありますが、中でも一番難しいのが笛だといわれています。ほかの地域では、笛の吹き手がいなくなっておはやしが続絶えてしまうこともあるらしいです。

■藤巻さん 笛は耳で音を聴いて覚えるしかないですから。基本を覚えると、自分なりにいろんなフレーズを入れられるようになって面白いですけど。

■浜名さん おはやしには、基本となる「地ごと」があって、その次の段階として「崩し」という応用編があります。まちの中のお祭りで演奏している

のはほとんどが崩し。より高度な技が必要ですよ。

■藤巻さん でも、基本がしつかりできていないと崩しには行けないですよ。練習を重ねていって「身に付いてくる」と、だんだん相手の音もしつかり捉えられるようになって崩しもできるようになります。

チビッコ教室50周年 次世代へとつなげる おはやしの文化

■浜名さん 藤巻さんは保育園の先生だから子どもたちに教えるのも上手ですよ。

■藤巻さん 子どもによって個人差がありますけど、先週できなかったことが今週できるようになったりするのでこちらもうれしいです。「これができる!」という達成感が生まれると、もつと頑張ろうという気持ちになれると思うので、その辺りは意識しているかな。練習自体を楽しめるような環境になっていたらいいと思います。楽しくないと続かないですから。

■浜名さん 私の場合、教える技術があるわけじゃないので、とにかく一緒に楽しくできればいいかな、と思って

います。チビッコ教室で子どもたちと練習するようになって10年くらいです。が、やっぱり子どもたちとやっているところも楽しいんですよ。チビッコ教室が始まって今年で50年。次の世代を担う子どもたちに、これからも長く楽しく続けていってもらいたいですね。

■藤巻さん むさしのばやしは160年以上も長く続いてきたこの地域の大切な文化です。お祭りやイベントなど、いろんなところでむさしのばやしに接する機会があると思うので、少しでも多くの人に興味を持ってもらえたらうれしいです。

今は小太鼓を練習しているけど、小学校の吹奏楽クラブでチューバを吹いているから笛にも挑戦してみたいな

小太鼓は一度覚えてしまうとスラスラできて楽しい、途中でリズムが変わって面白い。笛や鉦の音が入ってくると響きもきれいな



むさしのばやし
チビッコ教室の
子どもたち

例年、3月ごろに新規募集を行っています